



R ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、

人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、

広く市民の参加による団体を会員とし、

そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

働く人に寄り添い 働く人と歩み続ける 金融機関であるために

R ろうきんの基本姿勢

目的

〈ろうきん〉は、はたらく仲間がつくった福祉金融機関です。

〈ろうきん〉は労働組合や生活協同組合のはたらく仲間が、お互いを助け合うために、資金を出し合っつてつくった協同組織の金融機関です。はたらく人とその家族が安心して快適な日々を送れる社会づくりをめざしています。

世の中に数多くある金融機関の中で、純粋にはたらく人の福祉金融機関と呼べるのは、〈ろうきん〉しかありません。

運営

〈ろうきん〉は、営利を目的としない金融機関です。

〈ろうきん〉は労働金庫法に基づいて、営利を目的とせず公平かつ民主的に運営されています。

この〈ろうきん〉独自の運営に共感する人たちの輪が日本中に広がり、メンバーは全国で約1,000万人。労働組合や生活協同組合の仲間をはじめ、多くのはたらく仲間にも広く利用されています。

R ろうきんの事業運営3原則

労働金庫法第5条には、ろうきんの事業運営3原則

「非営利の原則」

「会員に対する直接奉仕の原則」

「政治的中立の原則」

が定められています。

当金庫では、この3原則にもとづき

中期計画および年度事業計画等を策定して

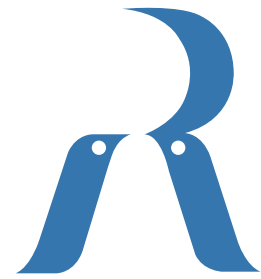
事業を運営しています。



運用

〈ろうきん〉は、
生活者本位に考える
金融機関です。

〈ろうきん〉の業務内容は預金やローン・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりありませんが、はたらく仲間からお預かりした資金は、大切な共有財産として、住宅・自動車・教育・育児などの資金として、はたらく仲間へ融資することにより、はたらく仲間とその家族を支え、より豊かにするために役立てられています。



Contents

運営理念	1
静岡ろうきんの概要	2
ごあいさつ	3
第3期中期計画『真価』	4
2019年度の事業環境と業績	5
ろうきんSDGs行動指針	7
静岡ろうきんSDGs実践方針	9
SDGs達成に向けた具体的取組み	11
静岡ろうきんの歩み	18



静岡ろうきんの概要

(2020年3月末)

本店所在地	静岡市葵区黒金町5番地の1
創立	1953年3月1日
出資金	38億円
店舗数	27店舗（インターネット静岡支店含む）
団体会員数	2,378会員
間接構成員数	562,315人
預金残高	1兆1,207億円（譲渡性預金含む）
融資残高	8,569億円